

Action

町田市立薬師中学校
第2学年
令和8年3月13日
第43号

企業経営シミュレーション MESE

先週の月曜日、1・2時間目と6時間目の計3時間を使い、企業経営シミュレーション『MESE』に挑戦しました。教室はさながらベンチャー企業のオフィスのように。期ごとに変わる市場データを見つめ、「価格を下げてシェアを奪うか」「研究開発に投資して品質で勝負するか」と、チームで熱い議論が交わされました。

授業の感想文には、経営者さながらの鋭い言葉が並びました。正解のない問いに対し、納得いくまで話し合い、自分たちの責任で「意思決定」を下す。この3時間で得た「決断の重み」と「チームワークの重要性」は、これから進路という大きな選択を控える皆さんの、確かな指針となるはずです。



<MESEの感想>

- 会社を経営するのは大変。マーケティングや設備費など全部を考えながら他の会社の出方を考えるのが難しい。
- 利益を増やすのが難しかった。変化し続けないとMPIは増えないから大変だった。
- どういう戦略で会社を経営するのかの話し合いが楽しかった。この戦略だと利益が出なかったり、在庫が残ってしまったりした。実際に今、会社を経営している企業はすごいなと思った。
- 見通す能力が足りなかったと思った。ブランディング重視で進めていくことにして、序盤の市場シェアの上がり方は順調ではあったが、設備投資に費やしすぎたり、中盤の市場シェアが停滞していた段階で価格を見直したりと、結果無視でブランド化することに急ぎすぎてしまい悔しい。
- 考えているときは色んな意見がとびかって最終決定を出すのが少し大変だった。本当の会社だと社員がもっと多くて色んな意見があるから、それでも成功した企業ってのはとてもすごいと思った。
- 消費者がどのくらい買ってくれるかとか、利益を伸ばすために班のみんなで考えるのが難しかった。
- みんなで値段を決めたりして、本当に会社をつくったみたいで楽しかった。

- 1ターンでめっちゃ売れたから調子によって値段を高くして失敗したり、在庫が余ったから作る量を減らしたら逆にめっちゃ買われて在庫が足りなくなったりしたから、工夫をもうちょっとしたかった。けど、みんなで話し合いながらやるのが楽しかった。
- もう少し、対照実験のように何をどう変えたら何がかわるのかなどを研究したい。奥が深いし、もっとやりたい。
- 安く売っても利益にならないし、高くても買ってもらえないから、知名度を増やしなるべく手を出せる価格に…
- 業績を伸ばすためには様々なことを相談して決めないといけないと思った。
- どこにお金を使って、どこのお金を減らすのか考えるのが難しかったです。
- 回数を重ねるごとに良くなっていくと思っていたけど、借金が増えていくばかりなので、会社を成功させるのはすごく難しいということを知ることができた。
- 会社を経営するのは難しいなと思いました。何がいけなかったのかあまり考えられなかったので、物事を分析する能力を身につけたい。

ほのぼのタイム 1時間SP



今週の月曜1時間目に行われた生徒会主催の全校レク「ほのぼのタイム1時間SP」では、校舎全体が巨大な謎解きステージへと変わりました。1年生から3年生までが混ざり合った10人1組の混成グループ。最初は少し緊張した面持ちだった皆さんも、校舎内に隠された「暗号」を見つけ出すミッションが始まると、学年の垣根を越えて協力し合う姿が見られました。

上級生がリーダーシップを発揮して作戦を立て、下級生と協力して暗号を探す。この全校レクの本当の目的は、単なるゲームの勝利ではなく、こうした「他学年との繋がり」の中にあります。もうすぐ最上級生となる2年生にとって、3年生の背中から学び、1年生を気遣いながらクリアを目指したこの時間は、最高学年への心の準備となる貴重な経験になったはずです。

